

声なき 感染症 を知る

◆76◆

相互理解し信頼構築
情報が行動を変える

りました。新型コロナウイルス感染症でも感染者に対する誹謗中傷、偏見など同様の問題が起こっています。

しかし、これらは感染症に対する信頼できる情報と正しい知識が不足していることが一因であります。人々の

また、非常時に一から信頼関係を構築するのは困難なので、平時から関係を深めておくことが大事です。同じ事案を議論していく状況を良くしたいと思うのは、一緒に、関係者の立場（例えば医療機関と行政）が違えばその問題に対する考え方、問題を解決するためのアプローチの仕方が違うことがあります。自分の考え方を強要するのではなく、違うことを認識し相

△迅速かつ正しい情報の共有が人の行動を変える

情報を共有する時には、個人情報に十分配慮すべきですが、情報不足は関係者間の不安、不信に繋がるため、それを防ぐために正しい情報を速やかに関係者間で共有することが重要です。そして、それは、方針決定者が適切な判断をする上でも不可欠です。

とりわけ非常時においては、誰にどうても手軽にアクセスでき、簡潔でわかりやすい情報提供が大事です。迅速で透明性のある正しい情報を共有することで、一人一人が当事者として問題意識を持ち、理解して行動を変容させることができます、被害を抑えるための重要な鍵になります。

【心霊活動の研究】
インターネットの発達で、誰でも情報発信・収集が容易にな

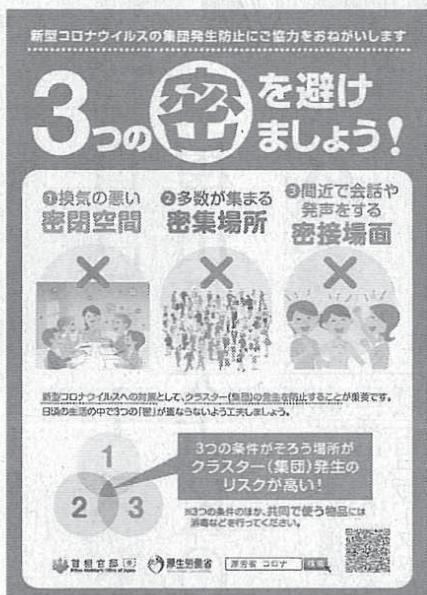
感染症は、さまざまなウイルス、細菌、寄生虫などの病原体が、外部から体内に、唾液などの体液や手、モノを介して侵入し感染することで起こる病気のことです。これらの微生物の大半は目に見えないほど小さく、しかも人々へ伝播し、時には集団発生を起こすことが人々の恐怖に繋がります。それが未知の感染症であれば尚更です。

過去には、ハンセン病やH.I.V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症の感染者に対する差別や偏見、人権侵害が起こ

恐怖感を無闇に惹起（じゃつき）することは、差別などの過剰反応を起こすことにつながりかねません。

▽平時から信頼関係構築を

感染症のリスクに関わる人たちは状況によりさまざまですが、国や自治体、医療機関、学校、そして一般市民など多岐に渡ります。非常時には、人は精神的にも余裕がなくなるので、つい意見が異なる人を批判しがちです。しかし、そのような時こそ、互いを尊重して共感し、感染爆発を抑えて病気で苦しむ人を少なくする、という目的に向



新型コロナウイルス感染症の集団発生のリスクについて
伝える厚労省のポスター。表現がシンプルでメッセージ性
がわかりやすいことはリスクコミュニケーションにおいて
重要である。

ネットの発達で、誰でも情報発信・収集が容易になりましたが、その一部にはデマも含まれていまします。また、ニュースは短い時間の中で要点を伝える必要があるため、当事者が事実に基づいた正しい情報発信をしていても、メディアによる情報の切り取られ方によつては誤解を招きかねないことがあります。情報源を調べてみることも大事です。

リスクコミュニケーション

県感染症情報センター

手に共感し対話し、課題を解決するために最適な方法を模索することが大事です。